



道 「考え、議論する」道徳へ 徳 ～「特別の教科 道徳」の全面実施に向けて～

小学校は平成30年度から、中学校は平成31年度から「道徳の時間」を「特別の教科 道徳」(以下「道徳科」という。)として位置付けることになりました。

「特別の教科」とは、どういうことなのでしょう？

「道徳科」は、学校教育における道徳教育の要となって人格全体に関わる道徳性の育成を目指すものであるから、主として学級担任が進めるのが望ましいこと、数値などによる評価はなじまないと考えられることなど各教科にはない側面があることから「特別の教科」とされました。

「特別の教科 道徳」の目標(小学校)

第1章総則の第1の2に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

『「考え、議論する」道徳への転換』とは どういうことなのでしょう？

道徳の時間の授業では、読み物資料を教材とすることが多いですが、資料に登場する人物の気持ちを読み取ることに終始し、本来のねらいである「道徳的価値についての考えと自己の生き方についての考えを深める」ことができるような授業ができていないのではないか、という指摘があります。これは、「読み物資料」を否定しているものではなく、授業展開や発問の仕方を見直す必要があるということです。「道徳科」では、児童生徒が「道徳的諸価値についての理解を基に」、「自己(人間として)の生き方についての考えを深める学習」ができるような授業が求められています。



「道徳教育の進め方 京都式ハンドブック」の活用は？

今回の学習指導要領の一部改正で、道徳教育に関する目標や内容、効果的な指導方法等の工夫等が改善されましたが、基本的な考え方については従来と変わりはありません。道徳教育や道徳科の授業の指導について基本的なことを学ぶ上で、ハンドブックは分かりやすく解説されています。今後も校内研修や授業研究に大いに活用してください。(ITECからダウンロードできます。)

道徳教育や「道徳科」について、さらに深く学ぶためには？

各学校では、教科化の経緯や全面実施までに何をしておけばよいのかを整理しておく必要があります。そのため、センターでは本年度は道徳教育に関する講座を3回実施しました。また、出前講座も25回(11月末時点)実施しました。講座を受講された先生方を中心に校内研修会等を実施し、全面実施に向けて準備を進めてください。

次年度は、さらに道徳教育に関する講座数を増やし、充実していく予定です。



学級全員の学力を伸ばそう！

ユニバーサルデザイン授業

連載
最終回

特別支援教育コーディネーターの役割と 校内体制の充実



特別な教育的支援を必要とする児童生徒への支援を適切に行うためには、担任だけでなく、学校全体で支援を行うことが大切です。担任による気づきを学校全体での理解につなげるために、特別支援教育コーディネーター（以下「コーディネーター」という。）が重要な役割を果たします（図）。

今回の連載最終回では、特別な教育的支援を必要とする児童生徒を学校としてサポートするコーディネーターや校内委員会の役割について紹介します。



図) 学校としての手立てにつなげる流れ

コーディネーターがこの役割を十分に果たすためには、コーディネーターの専門性の向上とともに、管理職によるリーダーシップの発揮と、校内の連携体制の充実、チーム支援が不可欠です。

センターでは毎年、コーディネーターの資質向上のための研修講座や管理職のための特別支援教育講座を実施しています。

次年度は、引き続き「特別支援教育コーディネーター養成講座」を行うとともに、さらに専門性を高めるコーディネータースキルアップ研修を予定しています。今後の研修計画に生かしてください。

これまで「ユニバーサルデザイン授業」の連載を5回行ってきました。

発達障害の子どもも含めて全ての子どもたちが学べる授業を実践していくために、是非、授業のユニバーサルデザイン化に取り組んでみましょう。

◎小・中学校におけるLD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）、高機能自閉症の児童生徒への教育支援体制の整備のためのガイドライン（試案）文部科学省（平成16年）を参考にしてください。

注目の記事をトピックスに掲載し、記事へのアクセス数に応じてメニューの並びを工夫しています。

各コンテンツを教科や領域等別に分類して、分かりやすいよう配置しています。

活用できる ITEC へ!!

総合教育センターホームページ (ITEC) は、昨年度のトップページのリニューアルに引き続き、構成を一新しました。

今後もコンテンツを充実していきますので、是非御活用ください。

